

## ルール

### ディスタンス

その名の通り、距離と正確性で勝敗が決まります。競技者の年齢性別に制限はありません（ディスタンスウーマンを除く）

スローワーである人間一人、キャッチャーである犬 1 匹で1チームとし、60秒の時間の中、規定コート内にディスクを投げそれを犬がキャッチします。長さ60メートル、幅30メートルのコートの中、より遠くへ、より多い回数キャッチをしたチームが勝者となります

競技のわかりやすさ、ダイナミックさからも、ドッグスポーツの中で最も人気のある種目のひとつになっています

ディスタンス競技の魅力の一つはその迫力にあるといえるでしょう

風に乗り、風を切り、飛んでいくディスク。それを一心不乱に追う犬たちの美しい姿。犬好きなら、また、犬に興味がなくとも感動せずにはいられない競技です

スローワーである人間は、ただ投げれば良いというのではなく、自分のパートナー（犬）の体の大きさキャッチのくせ、スピード、風向き、天候・・・あらゆることを計算し、考え、パートナーがキャッチしやすいように、また、無理なキャッチをさせないように投げなくてはなりません。ただ遠くへ飛ばせば良いというのではなく、すべてを一瞬で判断することを要求される競技です。

スローワーが投げたディスクをキャッチするために疾走する犬たちの美しさは、見る者に感動と、生命の力強さ、素晴らしさを教えてくれるのです

### 競技クラス

〔ディスタンス・アドバンスト〕(上級)GPF 対象競技→コート C エリア

犬種、犬の大きさ、犬の年齢に制限はありません

〔ディスタンス・ウーマン〕(上級)GPF 対象競技→コート B エリア

女性選手のためのクラスです。犬種、犬の大きさ、犬の年齢に制限はありません

〔ディスタンス・スモールドッグ〕(上級)GPF 対象競技→コート E エリア

小型犬のクラスです。大きさの下は制限なし、上は純血種で言うとコーギーやコッカーぐらいです。体重や体高に規定はありません。見た目が小型犬なら出場できます

#### **〔ディスタンス・インターメディアイト〕(中級)GPF 対象競技→コート A エリア**

初級クラスからの、ステップアップのクラスです。犬種、犬の大きさ、犬の年齢に制限はありません。上位のクラス同様、ロングリード、付き添い、ディスク以外での呼び込みは禁止です

#### **〔ディスタンス・チャレンジ〕(初心者)→コート A エリア**

おもに初心者クラスです。犬種、犬の大きさ、犬の年齢に制限はありません。あくまでもチームとして初心者対象ですから犬と人のどちらかが初心者であれば出場できます。コートの中にはプレイヤー以外の方が入ってもOKです。ロングリードなどの道具を使つての出場ができます

#### **〔ディスタンス・ローリング〕(初心者)→コート A エリア**

犬種、犬の大きさ、犬の年齢に制限はありません。また、キャッチの対象物はディスクである必要はありません。「転がるもの」であれば、ボール、おもちゃ等でもかまいません。ディスクキャッチはまだできない子犬、ディスクスローが難しいお子様や高齢者、初心者の方でも、犬が何らかのものを拾って帰ってくる事ができれば参加できます。尚、ディスクを使用する場合は、必ず転がす「ローリング」でなければなりません。通常のスローイングで ダイレクトキャッチした場合は、ポイントとなりません

#### **〔スリー・ダブル・ディスタンス(3WD)〕(チーム戦)GPF エキシビジョン対象競技→コート F エリア**

・3ペア1チームで行うリレー式ディスタンス競技

・チーム名でランキングをつけます

プレイヤー及び犬の入替は自由ですが、GPF ノミネート時、同じプレイヤー及び犬が複重した場合1チームでのみ出場が可能

・1R 制120秒

・各ペア順番にプレーを行い3巡目からのプレーは、どのペアがプレーを行ってもよい。しかし連続で同じペアがプレーすることはできない

- ・各ペアでフライングディスクを使用する(変更ディスク3枚まで)  
リレーのバトンタッチは、先行チームのディスクがスタートライン内に戻って来たら次のペアがプレーすることができる
- ・スモールドッグ3ペアチームのスタートラインは、6mラインからのスローイングとなる  
この場合、3WD は3pエリアが0pとなる
- ・「ラッキートライアングルゾーン」10ポイントエリアに1本でも足が入っていれば10p獲得となる。その他のポイントラインに足がかかった場合は、低い方のポイントエリアでジャッジされる
- ・エントリーは、チーム名でエントリーし、コメント欄に投げ手名・犬名を3ペア分記載する(キャプテンを最初に明記すること)

#### **〔ディスタンス・オールディーズ(D・Oldies)〕GPF エキシビジョン対象競技→F エリア**

- ・年齢が9才以上の犬が出場できるディスタンスゲーム
- ・シーズン中、活躍された数チームを選考し、GPFエキシビジョンゲーム「ゴールデン・オールディーズ」でプレーしてもらいます

選考方法→ディビジョンスタッフ・オフィシャルにて選出※GPF 対象競技にノミネートされたチームは選考除外となる

- ・2R制
- ・犬の年齢が9才以上
- ・スモールドッグのスタートラインは、6mラインからのスローイングとなる
- ・「ラッキートライアングルゾーン」10ポイントエリアに1本でも足が入っていれば10p獲得となる。その他のポイントラインに足がかかった場合は、低い方のポイントエリアでジャッジされる

## フリースタイル

こちらは数枚以上のディスクを用います。ディスタンスと同じく、人間一人、犬一匹で1チームとなります

120秒から150秒の時間の中、音楽に合わせ、パートナーである犬とさまざまなトリック(技)を繰り出し、その完成度を競います

完成度はディスクスローの安定、技の多彩さ、音楽との融合、犬のジャンピングの美しさなど、多岐にわたり判断されます

フリースタイルの面白さは、それぞれのチームの個性にあります。選曲から衣装、振り付け、皆趣向を凝らして競技に挑みます。また、日常生活ではまず、目にする事のない、犬の能力を見られることも魅力の一つです

人の胸、背中、足、あらゆる部分を踏み台にし、また、飛び越え、犬たちはディスクをキャッチします。ディスタンスと異なり、さまざまなスローのスタイルや、変則的なディスクの飛行が見られることも魅力の一つです。人にも犬にも、高いコミュニケーション能力と、お互いへの信頼が要求されます。当然、言葉が通じない同士なので、声、表情、ゼスチャー、あらゆる方法でパートナードッグへキャッチのタイミングや技の種類を伝えていきます。言葉が通じなくても、種族が違って、これほど理解しあい、信頼することができる

パートナーの人間を信頼し、それに応えようとがんばる犬たち。人間同士ではときどき忘れてしまう大切なことを改めて感じる事ができる競技、それがフリースタイルです

## 競技クラス

- D・D マスターズ(最上級) 1R:フリースタイル 120 秒～150 秒 2R:1分間のディスタンス
- D・D フリースタイル(中級) 1R:フリースタイル 120 秒～150 秒 2R:1分間のディスタンス
- D・B フリースタイル(初・中級) 1R:フリースタイル 90 秒～120 秒 2R:30秒のディスタンス

フリースタイル競技は、ディスクもしくはボール等でも OK です